

令和5年度第2回いわき湯本温泉ブランド化作戦会議

議 事 要 旨



○ 日 時

令和5年9月29日（金） 14:00～16:30

○ 場 所

いわき湯本温泉旅館協同組合 2階会議室

○ 出席者

- (1) 委員（5名）
渡部委員（座長）、滝口委員、奥川委員、薄羽委員、小泉委員
- (2) 事業担当課
都市建設部都市計画課・都市整備課、福島県いわき建設事務所道路課
- (3) 事務局
観光文化スポーツ部観光振興課、都市建設部都市計画課
- (4) その他
総合政策部創生推進課、土木部土木課、都市建設部公園緑地課、報道関係者等

○ 会議の流れ

- 1 開会
司会より開会の宣言
- 2 座長あいさつ
作戦会議座長である渡部委員より挨拶
- 3 事務局説明
前回（第1回）作戦会議のふりかえりについて、事務局（都市計画課）より説明
- 4 作戦
 - 4-1 公共空間整備に関するレビュー[3件]
事業担当課（市都市計画課・都市整備課、福島県いわき建設事務所道路課）より公共空間整備に関する計画（検討の進め方）の内容説明を行い、委員より助言・提言
 - 4-2 いわき湯本温泉の魅力や価値を高めるために必要な取り組みに関する意見交換
委員を中心に必要な取り組みについて、意見交換
- 5 閉会

○ 事業担当課、事務局の説明及び、専門家からの助言・提言、意見交換内容等（要旨）

△：事業担当課、事務局 ▲：委員

2 座長あいさつ

- ・台風被災に対するお見舞い。
- ・災害を前提としたまちづくりが必要である。
- ・湯本が楽しく、明るい、稼げる街になるように進めていきたい。

3 事務局説明

3-1 前回（第1回）作戦会議のふりかえり

3-2 作戦会議からの提案への対応状況

▲方針に文字が多く、表現があいまいで具体的な方法が見えない。

結論があり、結論へ至るための過程と提言があることをコンパクトにすること。
行政としては難しい面もあると思うが、実現ができなくても、現時点の考えや予算取りの考え方等を簡潔に示せるとよい。

△意見を参考に出来る限り改善していきたい。

4 作戦

4-1 公共空間整備に関するレビュー[3件]

(1) 常磐地区先導的基盤整備概略検討の検討内容について

△駅前交通広場・駅前緑地及び御幸山公園・温泉街における道路空間の管理運営方針や事業費の検討を行いながら、ビジョンブックに描かれたマイプレイスの実現につながるよう検討（設計）を行う。

△「温泉感」、「フラ感」、「歴史感」の3つのキーポイントを定め、エリアごとの強弱を組み合わせる。

△作戦会議での助言・提言を最大反映し、基本設計・詳細設計へとつなげていき、ビジョンブックに描いたマイプレイスの実現を目指す。

△御幸山公園は、民間による温浴施設の整備がされない場合、整備水準は変わり、回遊路として必要となる修景整備となるものとする。

▲駅前の温泉感のための足湯や温泉の流れは、デザイン要素として重要であるので、法的制限や維持管理等で実現が難しい場合でも、形や手法を変えながら検討を進めてほしい。

▲グリーンインフラの考えを基にインフラ整備を検討し、雨水の地下浸透と湯けむりの漂いを組み合わせることや、まち全体での防災効果を高めることも検討すること。

▲人が集まる場所は分散させずに、人が集まる中心を交流拠点施設の広場とすべき。

▲駅前周辺地区の「温泉感」と「フラ感」の組み合わせは非常に難しいが、要素を集めるだけのようなことは避けるべき（まちなみのキーワードに引っ張られすぎずに、トータルでまちなみを作るべき）。

▲観光客目線を持ち、直角・直線だけではなく有機的に検討を行うべき。

(2) 湯本駅周辺土地区画整理事業における基本設計の検討内容について

△土地区画整理事業の制度を活用し、基盤整備に必要な各要素の大まかな内容を決める作業を行う。

△駅前が魅力あるまちの玄関口として、多くの方が訪れる居場所の1つとなるよう、「拠点性・滞在性」、「安全性・快適性」、「柔軟性」を考慮し検討を行う。

△基本設計の後、実施設計により詳細な検討や設計を行い、基盤整備を行う。

▲歩行者中心の駅前を目指し、公共交通事業者と協議を行うこと。

▲公共交通の縮小等、今後の交通のあり方等を踏まえて、駅前交通広場が、設計内容を含め可変的に整備されることが望ましい。

▲パークレットのような仕掛けをしようとした時に、道路のエッジ部に固定された構造物を設置すると支障が出るので、可変的な構造がよい。

▲自転車を活用したまちづくりを推進しており、歩行者に加え、自転車の安全性確保とにぎわいづくりを組み合わせたい検討を行うこと。

(3) 都市計画道路 白鳥藤原線予備設計の検討内容について

△歩道拡幅にあわせて電線共同溝を整備し、観光客等の回遊性の向上とまちなみ景観の向上を図る。

△歩道の構造については、まちなみ等に考慮し選定する。

△令和 11 年度末までに電線共同溝整備工事、歩道整備工事を完了させる予定としている。

▲市道との接続部は、舗装の仕様を市道と合わせる検討を行うこと。

▲無電柱化に伴い設置される地上機器は、植栽等による目隠しやラッピング等の修景、公共的なサイン機能を持たせた盤面等について検討を行うこと。

▲点字ブロックの色については、全体の計画を考慮し検討を行うこと。

4-2 いわき湯本温泉の魅力や価値を高めるために必要な取り組みに関する

意見交換

- ・各事業の計画が個別に行われると、内容の統一感がなくなるので、全体の雰囲気や進捗が分かる場所があるとよい。
- ・ビジョンブックについて、「文字情報を変えずにデザイン性を高めたもの」「イラスト付きで文字の量を半分程度に減らしたもの（PR 版）」の 2 種類を作成。
- ・「デザイン性を高めたもの」は、まちの方々などが参考とする教科書のように使用するもの。
- ・「フラミュージアム」は歴史があるコンテンツを、拠点を持ちながら解体して、再配置することができるのでおもしろい。
- ・「PR 版」は学生をはじめ、湯本に関心がある方や、何かを新しく始めたい方などが使用するもの。
- ・関心がある方に「湯の街学園祭」で特別授業を行うのもよい。
- ・計画が順調に進んだ際には、観光客は 30 万人増え、ビジネスは格段にやりやすくなるので、ビジネスについて考える会を開くのもよい。
- ・行政の職員は湯本のまちづくりを自分がやったものと言えるように、自分事に置き換えて取り組んでほしい。
- ・ビジョンブックの更新は、白紙のページを追加し、各々がやりたいことを考えてブックを分厚くしたり、マイプレイスの深掘り等が考えられる。